

企業を元気に、情熱系経営マガジン

### 「継ぐ」極意

新ブランド設立を先代も応援  
強い信頼関係が円滑な承継に

株式会社 福井  
福井 基成さん

### 堺のイチオシ

「浄化」に特化した高い技術力で  
脱炭素社会の実現に貢献

ミウラ化学装置株式会社

### SAKAIの傑作

少ない燃料で高い火力を実現した  
新しい薪ストーブ「コロケット」

株式会社コロケット

### SPECIAL FEATURE

# ITの活用で駅前商業施設の 再活性化を。

泉北光明池専門店事業協同組合／株式会社パソコンレスキューサービス

# 「スマート化」の推進で 専門店街の新たな 魅力づくりを

泉北光明池専門店事業協同組合  
理事長 吉田 源三

高度経済成長長期に開発された泉北ニュータウンは、住民の少子高齢化が進み、かつての活気を失いつつあります。光明池駅前にある商業施設「サンピア」も開業から40年余りを経て、さまざまな課題が浮かび上がるなか、1丁の活用で再び賑わいを取り戻そうと動き始めています。

.....

## 大阪府や堺市のビジョンとともに サンピアの活性化ビジョンを

泉北高速鉄道「光明池駅」の駅前にある専門店「ジョイフルショップングサンピア」(以下、サンピア)。1979年の開業以来、地域の人たちが外食や買い物を楽しむ身近な商業施設として愛されてきました。ところが、住民の少子高齢化が進み、商圏内人口の減少が大きな課題となつています。泉北光明池専門店事業協同組合の吉田源三理事長は、「サンピアジョイカドの会員の約60%が60歳以上のシニア層なのです。お客様とともに、組合員の高齢化も進んでおり、これからサンピアをどう運営していくべきかが昨今の大きな課題となつていました」。

サンピアを運営する泉北光明池専門店事業協同組合(以下、組合)は、大阪府が開発した商業用地が分譲される際に、その受け皿として197

5年に組合員52名で設立されたものです。今日では組合員も18名まで減少し、個々の事業承継も含めて組合の活性化もまた課題だったと吉田理事長は語っています。

そうしたなか大阪府や堺市では、泉北ニュータウンの活性化に向けて、さまざまな取り組みを始めています。なかでも堺市が2021年5月に策定した「SENBOKU New Design

」\*を実現するための「SENBOKU Uスマートシティ構想」は、「Live SMART Play SENBOKU」暮らし愉しむ、アソビのあるまち」をコンセプトとしたまちづくり構想です。

組合では、この堺市のビジョンと、大阪府が2025年万博のテーマを踏まえて策定したビジョン「いのち輝く未来社会」を背景に、サンピアの活性化ビジョンをまとめました。「サンピア宣言2022」です。

## スマートシティ構想の実現に向け 「スマート化」の実装・実証の場

「サンピア宣言2022」を考えると、きっかけになつたのは、本館の地下1階にあった遊技業が撤退したことだったと吉田理事長。「次はどのようなテナントを誘致するかという目の先のことよりも、サンピアとしての明確なビジョンを改めて作るべきだと考えたのです。まず外部環境と内



部環境を分析し、これからは「いいしょくじゅうのまち」として地域の暮らしを応援していこうと決めました。「いいしょくじゅうのまち」とは、『医・衣・食・住のまち』であり、『いい職・住(民)のまち』、そして『いい色・自由のまち』ということでした。

「いいしょくじゅうのまち」を実現する事業領域を『アソビ事業』『学び事業』『医&e+事業』(eは、eの上に乗せたもの)とし(右図参照)、それぞれに具体的な事業計画も作成しました。まず取り組む大きなテーマは2つ。「いのち輝く未来社会」を背景とした「健康寿命」と、スマートシティ構想に基づく「スマート化」です。

「すでに2番館にはクリニックやスポーツクラブが入居しており、こうしたテナントとのタイアップによってシニア層の健康づくりに寄与したいと考えています。『スマート化』については、サンピアをスマートシティ構想の実現に向けての実装・実証の

\*SENBOKU New Design...泉北ニュータウン地域において、新たな価値を創造し、将来にわたって多様な世代が快適に住み続けることのできる「持続発展可能なまち」を目指し、次の10年の取組みの方向性や将来像を示した新たな指針。 堺IPC PRESS ①



館内各所に設置されるデジタルサイネージで、リアルタイムにキャンペーン情報などの情報配信を行う予定。写真は設置場所の一つ本館3階。

※下記パースはイメージです。



新オフィスでは1人に1台のパソコンで、業務は全てデジタル化される。

場として、シニア層のスマート化支援に取り組んでいきます。そのプロジェクト名を『やさしくスマート事業』としましたが、この『やさしく』には『易しい』だけでなく『優しい』という意味もこめており、今さら人には聞きづらい、上手に使えなかったら恥ずかしいというシニア層の気持ちに寄り添って、昔から馴染みのあるサンピアでさまざまなIT活用を体験してもらえたらと考えています。

## 将来的には子育て世代にも魅力ある施設づくりのデザインへ

「サンピア宣言2022」の策定では、堺市産業振興センターの「エキスパート派遣による経営力向上支援事業」を活用。スマート化の推進については「ビジネスマッチング事業」でITのプロとして(株)パソコンレスキューサービスの伊藤久美子社長を紹介いただきました。「伊藤社長にはITのプロとしてはもちろん、外部の客観的な視点と女性としての視点での確かなアドバイスをいただけるよう、引き続きお手伝いいただくことにしました」と吉田理事長。

現在はスマート化事業を進める前の環境づくりとして、全館で利用できるフリーWiFiの整備のほか、組合の事務所の改装を進めています。事務所は全面OAフロアにするほか、一般の人にも利用できるテレワークブースやセミナースペースを設けました。組合運営のスマート化も図るべく、全組合員にタブレットを配付して、これまで紙で回していた文書のデジタル化を実施します。

シニア層のスマート化支援については、大手キャリア4社との連携でまずスマートフォンへの乗り換えを促進するほか、実際にそれを活用することでどのように便利になり楽しみが広がるかを学ぶ機会と場を提供してい

きたいと吉田理事長。「サンピア集合のウォークラリーを企画したり、カウントした歩数に応じてポイントを提供したりして健康増進にも貢献したい」と語っています。

将来的に子育て世代など若い住民が増えてきた時に、サンピアとしてどういうライフスタイルを提案できるのか、そういうことも今後デザインしていきたいと語っています。

### 泉北光明池専門店事業協同組合

代表者名/理事長 吉田 源三

本社/堺市南区鴨谷台2-2-1

TEL/072-299-8001

設立/1975年設立

出資金額/3億8,016万円

組合員数/18名

事業内容/ファッション・コスメ

ティック・グルメ・食料品、スポーツクラブ、クリニックなど複合型ショッピングモールの運営



泉北光明池専門店  
事業協同組合  
ホームページ



**成功のポイント** / 少子高齢化と商圏内人口の減少という危機的状況の中、目先の対策に捕らわれることなく、抜本的に見直し将来ビジョンを作ることから着手。計画実行はタブレットを使い、顧客データを見える化することからスタート。できることをみんなですべて、これがサンピア躍進への礎です。

# 得意のITによる**活性化策**を 総合的に**提案、サポート**へ

株式会社パソコンレスキューサービス  
代表取締役 伊藤 久美子

## コロナ禍のデジタル化推進を 手取り足取りサポート

今日のパソコンレスキューサービスを立ち上げる前、Windowsが発売された当初からパソコンのサポートに携わってきたという伊藤久美子社長。現在同社では、基本的に会員契約した法人を対象にパソコンの設定やインターネット接続をはじめ、データ移行、機器のメンテナンスなど幅広いサポートサービスを展開しています。

新型コロナウイルス感染症の流行で、リモートワークやオンライン会議など、かつてなかったほどデジタル化やスマート化が求められていますが、ITという言葉が世に出て久しい今日でも、それに対応できる企業がまだまだ少なかったことを実感したと伊藤社長は語っています。

「このコロナ禍で行政からもデジタル化を進めるための手厚い支援がありますが、単にパソコンを購入したりホームページを作成したりすることがデジタル化なのかといわれれば違うと思います。自社に見合ったデジタル化が何か理解している企業は多くありません。デジタル化により、10km四方だった商圏が何万kmまで拡げられるなど、どういう便益が得られるかを理解した上で活用することが大切なのです」。

会員登録制で積み重ねてきた顧客

との信頼関係があるからこそ、どのようなデジタル化が最適かを総合的に提案できるのが同社の強みだと伊藤社長。最近では、デジタル化のためのどのような支援制度があるのかということから申請書の書き方までを手取り足取りサポートすることも始めたそうです。

自社でもデジタル技術を活用した新規事業を開発するにあたり補助金を活用したことで、顧客へのより具体的で実際のサポートにつながっていると語っていました。

## サンピアの現状を分析し、課題解決法をITのプロとして助言



会員登録された法人顧客ごとに担当者をおき、不具合があった時にも迅速に対応している。

「サンピアのスマート化事業に関わることになったのは、ITアドバイザーとして俯瞰してサンピアの現状を分析し、抱える課題の解決に思いきった視点から提案できたことが評価されたようです。」

「せっかく補助金を使ってパソコンやウェブカメラなどを導入されても、それが十分に活用されないのであれば、補助金の本来の狙いから外れてしまいます。申請が通った後にもシステムや機器がきちんと活用されるまでをサポートしています。例えば、工場内にウェブカメラを設置することで、自宅にいながらリモートで工場内の安全を確認できるようにしたケースや、ものづくり企業が自社サイト内にオンラインショップを設けたことで自社製品の見直しやPRができたほか、社員のモチベーションアップにつながった例もあります」。

一方、光明池駅前の専門店街「サ

「ビジネスマッチング事業で紹介され初めてサンピアに何う前に、近隣に住む友人や知人に利用者としての印象などをヒアリングしました。それから現地を訪ね、理事長たちの問題意識や、今後望む方向などを伺い、さまざまな課題を発見しました。まず、ITのプロからすれば、サンピアには公式サイトがあり、LINE公式アカウントも取得していますが、運営者の組合が主導して情報発信されているわけがなく、大変もったいない状態です。利用客にアピールする情報をリアルタイムに発信することが、サンピアの魅力向上につながるわけで、館内に設置するデジタルサイネージもその一つのツールです」。



不具合の発生した機器を持ち帰って修理などのメンテナンスも自社内で行っている。



ものづくり企業の産業システムの開発なども主な業務。

現在サンピアでは、こうしたデジタル化を進めるための環境整備を行っているところですが、伊藤社長はさらにその先での大転換も提案しています。

**ITとエンタメが融合したeスポーツなどが新たな起爆剤に**

地域住民の少子高齢化により、顧客層も高齢化しているサンピアの現

状。それを何とか打破したいと考えている理事たち組合側の要望に応えて、伊藤社長が出したプランは、遊技業が撤退した地下1階を、eスポーツやロボットコンテストなどの教育プログラムの利用しようというものです。

「eスポーツのプロのプレーヤーに聞くと、国内は会場が全く足りていないそうで、若い人たちの学びの場であるとともに、プロによるイベント会場としても活用すれば、市内外から多くの若者を呼び込むことができます。『人が集まる』は『モノが集まる』ことでもあり、新たなショップの誘致も考えられるでしょう。プログラミングやロボットというのは、教育面でも注目されている分野であり、子どもたちがその世界へ足を踏み入れる入口をサンピアが作ってはどうかと考えています」。

ところで、パソコンレスキューサービスでも補助金を活用して開発中だという新規事業は、高齢者の見守りサービスです。「子どもたちから離れて独りで暮らすアクティブシニアが対象で、スマートウォッチといったウェアラブルデバイスを利用して日常的に利用者の心拍数などのデータを取得し、異常値が出た時には家族はもちろん、登録されているケアマネジャーやかかりつけ医にも通報される仕組みです。利用者が拡大されれば、個人が特定されないビッグ

データとして地域の病院や大学でも、疾病の地域特性などの研究に活用できると考えています」。

今回のサンピアのスマート化事業にアドバイザーとして参画し、以前から関心のあったエンターテインメント界とのコラボも視野に、新たな境地を開拓しつつある伊藤社長。ITの活用による可能性はまだまだ広がっていくようです。

### 株式会社パソコンレスキューサービス

代表者名/代表取締役 伊藤 久美子  
 本社/堺市西区浜寺石津町西4-19-5  
 TEL/072-243-9901  
 設立/2001年設立  
 資本金/1,000万円  
 従業員数/10名



事業内容/情報処理サービス・情報提供サービス、情報処理システムの開発・提案、業務アプリケーションの導入支援、システム開発・導入支援、ホームページ制作 など

**成功のポイント/** 商業施設「サンピア」が抱える少子高齢化と商圏内人口の減少という課題に対し、若者を呼び込み、顧客を大きく変えるという大胆な企画案。その発想の原点には、「顧客の潜在ニーズをどう発掘し満足させるか」をキーとして、IT技術でさらに拡大発展させていく実行力。これこそがパソコンレスキューサービスの経営の本質です。



## 国際的なスポーツの祭典の舞台にも採用された「プール用ろ過装置」

1953年の創業来、空気や液体などを「浄化する」ことに特化して技術力を磨いてきたミウラ化学装置株式会社。とりわけ創業時から注力してきた珪藻土ろ過装置については、それを転用して開発されたプール用ろ過装置「A-1フィルター」が国内におけるトップシェアを誇っており、2021年に東京で開催された国際的なスポーツの祭典の水泳競技場でも採用されました。また、新型コロナウイルス感染症の治療薬の製造プラントにも、同社の工業用ろ過装置が納入されています。

このように高い信頼性が求められる現場への納入事例が豊富であることの一番の強みを三浦紀彦社長は「計画前の段階から参画し、お客様と一緒に作り上げた最適なプランで個々に設計。さらに現場での試運転から据付までをワンストップで担えるところにあります」と語っています。例えば、脱臭装置については、計画前の現状把握のために臭気判定士の資格を持つ社員を派遣。臭いという感覚的なものを臭気指数として数値化した上で、どこまで下げるのかという目標に向けた計画を作成しています。

## 世界的なテーマ「脱炭素」をビジネスチャンスとして事業を展開

最近では世界的な潮流である「脱炭素」「CO<sub>2</sub>削減」を大きなビジネスチャンスと捉え、同社が長年に培ってきた排ガス処理技術などを生かした事業開発を行っています。具体的には、バイオマス発電所から発生する臭い対策としての脱臭装置や、CO<sub>2</sub>排出が少ない地熱発電所で使用されるサイレンサーで、全国の地熱発電所に



1~5ミクロンの微細粒子まで除去できる抜群のろ過精度を誇るプール用ろ過装置「A-1フィルター」。



「良いと思ったことはすぐにやるのがポリシー」と三浦社長。「いい会社」を見学したことがヒントとなり、新社屋では全館でBGMを流すよう設計された。

150台ほどが納められています。

また、規制強化を背景にタイやマレーシアへの排ガス処理装置や脱臭装置の納入事例も増えており、大型案件としては、中東のカタールへ一度に148台のサイレンサーを納入した事例もあります。

「『浄化』という隙間市場で70年のノウハウの蓄積があることや、全ての産業界から求められるものづくりを行っていることが創業から一度も赤字を出したことがない当社の強さにつながっていると思います」と三浦社長は語っています。

## 働きやすい職場環境を目指し 2023年夏には新社屋も竣工予定

ところで、同社では「良い製品は、良い職場環境から生み出される」という考えのもと、働きやすい職場づくりを進めており、「健康経営優良法人」の認定も取得しています。例えば、40歳以上の社員とその配偶者に全額会社負担でPET検査を5年ごとに実



同社では、経済的かつ環境に配慮した「触媒酸化方式」による塩素系VOC処理装置を新たに開発。

施しており、実際にガンの早期発見につながった例もあるとか。

また、良好な人間関係づくりのための「礼儀ガイドライン」を制定しているほか、年に2回、社員から会社を良くするための改善提案を募集しています。会社が補助金を出してサポートしているマラソンや釣り、焚き火といった同好会も、社員の提案から誕生したものです。

手本は『日本でいちばん大切にしたい会社』大賞の受賞企業だと語る三浦社長。社員にとっての快適な職場環境を目指して新社屋を建設する予定で、車椅子にも対応できるようバリアフリーにしたそうです。創立70周年を迎える2023年8月に竣工されます。

## 活用した事業メニュー

### ■ 中小企業経営学舎 (旧ものづくり経営大学)

日本トップクラスの「いい会社」を実際に見学したり、経営者の方からお話を伺ったりして、「どこから見ても誰から見てもいい会社」の作り方を学ぶことができました。さっそく地域清掃の実践や新社屋の建設など、良いと思ったところを採り入れています。

## ミウラ化学装置株式会社

代表者名 / 代表取締役 三浦 紀彦  
本社 / 堺市美原区木材通2-2-1  
TEL / 072-362-8020  
設立 / 1953年設立  
資本金 / 4,900万円  
従業員数 / 95名  
事業内容 / 工業用および水泳プール用ろ過、排水処理、脱臭、騒音防止、ミスト分離など各種装置の製造・販売



ミウラ化学装置株式会社  
ホームページ

# 「浄化」に特化した高い技術力で 脱炭素社会の実現に貢献



## 令和4年度 産業技術セミナー

地方独立行政法人大阪産業技術研究所の協力を得て、加工技術の開発や課題解決、新技術開発等を目的としたセミナーを開催します。関心のあるテーマのみの受講も可能です。

### ① 10月18日 14:00～16:30

「地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 見学ツアー」  
これまで大阪産業技術研究所をご利用されたことのない企業の方を対象に、ご利用方法、概要及び主要設備の見学を行います。  
定員10名（先着順）

### ② 10月21日 18:30～20:00

「アーク溶接技術～基礎と最新の研究動向～」  
加工成形研究部 研究員 田中 慶吾氏

### ③ 11月22日 18:30～20:00

「レーザ溶接技術 ～基礎と応用例～」  
加工成形研究部 主任研究員 山口 拓人氏

### ④ 12月16日 18:30～20:00

「ろう付技術～基礎と応用例」  
金属表面処理研究部 主幹研究員 岡本 明氏

詳細及び申し込みはこちらから⇒



「中小企業経営学者」と「産業技術セミナー」のお問い合わせ先 公益財団法人堺市産業振興センター 経営支援課

TEL: 072-255-6700/FAX: 072-255-1185/Email: keiei\_shien@sakai-ipc.jp

## 講演いただく大阪産業技術研究所についてのご案内 「大阪産業技術研究所」は、ものづくり 中小企業を支援する公的機関です。

### 主なご利用メニュー

**技術相談(無料)**：幅広い技術分野の専門研究員を配置し、相談をお受けしています。

**依頼試験・簡易受託研究**：材料・部品の各種試験、分析、加工などを行います。

簡易受託研究では、複数の試験や分析及び加工を組み合わせて、課題の解決を図ります。

**装置使用**：和泉センターが保有する高機能な機器等のうち、取り扱いが容易な機器等をご利用いただけます。

その他のメニュー、詳細はこちらをご確認ください。  
⇒ <https://orist.jp/riyou-annai/izumi/syoshinsya.html>



お問い合わせ先 大阪産業技術研究所 本部・和泉センター

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野 2-7-1 技術相談・総合受付：0725-51-2525

## 堺伝統産業会館の愛称が『堺伝匠館』(さかいでんしょうかん)に!



堺の伝統産業を一堂に集めた「堺伝統産業会館」は、リニューアルオープンを機に多くの方に親しみや愛着を持っていただけるよう、現在、愛称「堺伝匠館」として運営しています。

愛称は応募総数138件の中から、「堺の伝統産業、匠の技術を伝える(伝承する)施設のコンセプトが表記にも読みにも簡潔に表現され、語呂もよく、呼びやすい。「本物」、「真」をイメージさせ、堺市の伝統産業を伝える重要な施設であることを感じさせる。」と評価され、決定しました。

堺伝匠館では、一般の方から料理人まで満足させる多種多様な包丁、注染・和晒、線香、昆布、和菓子など購入できる『TAKUMI SHOP』をはじめ、伝統製品の歴史や製法などが学べる展示室『TAKUMI EXHIBITION』、『堺刃物ミュージアムCUT』のほか、実演や体験イベントも開催しています。ぜひご来館いただき、堺の伝統製品を知って、ふれて、買って、使ってみませんか。

### 堺伝匠館

<https://www.sakaidensan.jp/>



### 堺伝匠館オンラインショップ

<https://www.emallsakai.com/>



### 堺伝匠館Instagram

<https://www.instagram.com/sakaidensan/>



堺伝匠館をフォローして、一緒に堺市の伝統産業を盛り上げましょう!

# 堺市産業振興センター 新コーディネーターのご紹介



堺市産業振興センターでは、中小企業の皆様の経営課題の解決を大手企業や公設試験研究機関の経営豊富なOBがコーディネーターとしてお手伝いしています。新たな仲間として加わったコーディネーターをご紹介します。

**山本 淳 (やまもと じゅん)**

※主にサービス業への支援を担当しています。

**【専門分野】** 商品の企画・開発、生産管理を担当。マーケティング・組織開発・新製品開発

**【資格】** 中小企業診断士・経営管理修士 (MBA)

**【一言】** 堺市の活性化に貢献できるように頑張ります。

## 令和4年度 中小企業経営学者(旧ものづくり経営大学) 受講者募集中! ～「どこから見ても誰が見てもいい会社」のつくり方を学ぶ講座～開講のご案内



**【カリキュラムのご案内】**

- ・プレセミナー 8月29日(月) 17:30～19:00  
「中小企業経営学者を知る」
- ・1日目 10月12日(水) 13:00～17:30  
「企業のあるべき姿を学ぶ、自社の状況を把握する」
- ・2日目 11月16日(水) 9:00～17:00  
「企業視察～経営理念と経営戦略～」
- ・3日目 12月7日(水) 13:30～17:30  
「経営者対話～経営理念の浸透～」
- ・4日目 1月24日(火) 13:30～17:30  
「経営者対話～いい会社を作るまでの過程～」
- ・5日目 3月7日(火) 13:00～17:30  
「アクションプラン発表、いい会社づくり取組発表」

※個別フォローも実施いたしますので、安心してご参加下さい。

講座の詳細及びお申し込みはこちら <https://sakai-ipc.jp/bizsupport/humanresources/monodai/r4.html>



## 貸会場のご案内「イベントホール・セミナー室・会議室」

イベントホールをはじめ、コンベンションホール、大小会議室、セミナー室、小ホールなど、幅広く対応可能な14会場をご用意しています。会議、研修会、講演会、展示会、パーティなど様々な用途にご利用いただけます。空き状況はインターネット上(堺市施設予約システム)でご確認いただくか、お電話でお問い合わせください。

**【利用時間】** 9:00～21:00

**【休館日】** 年末年始(12月29日～翌年1月3日)

**【駐車場】** 約230台(無料)

**【最寄り駅】** 中百舌鳥(なかもず)駅から約300m

お問い合わせ先 堺市産業振興センター 貸会場お問い合わせ先

TEL: 072-255-0111 ホームページ: <https://www.sakai-ipc.jp/>



イベントホール(展示会形式)



セミナー室3(スクール形式)



ミーティングルーム(会議形式)



公益財団法人

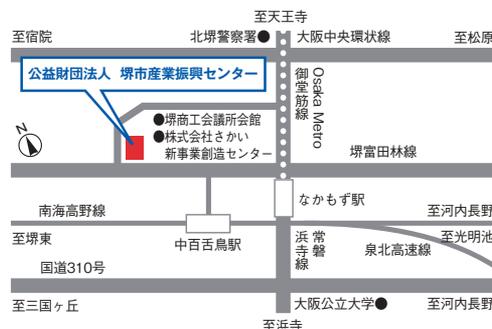
堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、福利厚生事業、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5

TEL.072-255-3311(代) FAX.072-255-5200

<https://www.sakai-ipc.jp/>



●南海高野線中百舌鳥駅より約300m ●Osaka Metro御堂筋線なかもず駅より約300m ※駐車場は、隣接の来客用駐車場(無料)がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

# 継ぐ 極意

さまざまな事業承継の  
ありさまをご紹介します

## 新ブランド設立を先代も応援 強い信頼関係が円滑な承継に

代表取締役社長 福井 基成 さん

(福井 隆一郎会長)

(福井 基成社長)

### 株式会社 福井

堺市堺区九間町東1-1-10  
TEL.072-227-0001

代表者名/代表取締役社長 福井 基成  
設立/1912年創業 1950年設立  
資本金/1,000万円  
従業員数/120名  
事業内容/堺刃物、ガーデニングツ  
ール、DIY用品、キッチンツールの開発・販売

堺打刃物の製造・卸を生業として1912年に創  
業。1990年代以降は、園芸用品や日用品など  
を幅広く取り扱う卸売業に専念していたが、  
2019年から製造を再開。2021年には自社ブ  
ランド「刃道 (HADO)」を立ち上げ、フランス  
をはじめヨーロッパで高い人気を博している。



(株) 福井  
ホームページ

**子** どもの頃から跡継ぎであることは  
刷り込まれていました」と福井基成  
社長。それでも会社勤めの経験が  
今後に役立つと、大学卒業後は大手タイヤ  
メーカーに就職しました。2006年、海外  
赴任の声が掛かるタイミングで呼び戻される  
ように株式会社福井に入社。社長就任は3年  
前の2019年です。

「社長就任前に経営大学院に通い、MBA  
(経営学修士)を取得しました。体系立てて経  
営を学ぶことができたのは良かったですね。事  
業承継については、よく聞く株の分散や社内の  
権力闘争、古参幹部との対立などと全く無縁  
で恵まれていました」と福井社長。「100年  
を超える歴史を持つわけですから、それなりの  
価値が世に認められてきたでしょう。そうし  
たことに謙虚に、今までを築いてきた先代や古  
くからの幹部社員へのリスペクトを持つことが  
円滑な承継に大事なのではないだろうか」と  
語っています。一方、福井隆二郎会長も「時代が  
変わるなか、企業も変化が必要。若い人に委ね  
たら、口を挟まないことです」と話しています。

福井社長が立ち上げた自社ブランド「刃道  
(HADO)」については、「メーカー勤務だっ  
たせいか、卸売だけの事業に違和感があり、  
いつか製造を再開させたいと考えていました。  
その思いは先代の父も同じだったようで、新  
ブランド設立のためのプロジェクトに大きな投  
資が必要だった時も、一番に背中を押してく  
れたのは先代です」と話しています。静かに  
見守ってくれているからこそ、節目節目での報  
告も欠かさないと福井社長。強い信頼関係が  
円滑かつ発展的な事業承継につながっている  
ようです。

堺のものづくりから生まれた逸品

# SAKAIの傑作

## 少ない燃料で高い火力を実現した新しい薪ストーブ「コロケット」

小さい頃から燃焼という化学反応への関心が高かったという川村治さんが独自に開発したのが、これまでになかった新しい薪ストーブ「コロケット」です。従来の薪ストーブの暖房効率があまりに悪いことから、燃焼効率の良いロケットストーブの機構を採用しながら、安全性が高く屋内でも使用できて、さらに熱効率の良いものをと開発されました。

「コロケット」は燃焼室断面積と排気道断面積の比率を変えて長時間の燃焼を可能にしたほか、燃焼室内に石の耐火材を張ることで1,000℃の高温を維持できるようになっています。そのため、通常は乾燥させた薪しか燃料に使えないところ、生木も燃料にすることができ、しかも少しの燃料で高火力を実現しました。ほとんど煙も出ないという「コロケット」は、屋内型ロケットストーブとして特許も取得しています。

シンプルな造りにすることで取り替える部品がほとんどないため、ランニングコストが低く壊れないというのも大きな特長。気密性の低い古民家カフェなどからの注文も多いとか。部屋の大きさなどに応じて選べるようラインアップされており、昨年にはユーザーからの要望で持ち運びできるアウトドア用「ロケットコンロ」も発売されています。



炭コンロ



中辻多佳子社長(左)と技術開発者の川村治さん

## 株式会社コロケット

もともと建築金物や工具の製造会社を営んでいた川村治さんが薪ストーブの開発・製造に特化した事業を展開すべく、中辻多佳子社長と2017年に創業。薪ストーブのほか、焼肉店などで炭の保温に利用される炭コンロやポイラー、バイオマス温風機などの開発・製造を手がけています。

今後、注力したいのは、廃プラスチックや紙くずを破碎してペレット状に成型した固形燃料(RPF)の活用で、現在も世界の食糧危機対策として期待されている昆虫食用のコオロギの養殖装置を開発中です。同社が得意とする熱効率の高い燃焼炉を採用することで、人手をかけずに低コストで、さらに大量生産を実現するシステムづくりを目指しており、燃料にRPFを利用することで社会貢献にもつながりたい考えです。

代表者名/代表取締役社長 中辻 多佳子

本社/堺市西区鶴田町30-81

TEL/072-284-8218

設立/2017年設立

資本金/300万円

従業員数/2名

事業内容/薪ストーブ・バイオマスポイラーの開発・製造・販売



㈱コロケット  
ホームページ

堺に活気を、ものづくり応援マガジン



堺のものづくりから生まれた逸品

SAKAIの傑作

少ない燃料で高い火力を実現した  
新しい薪ストーブ「コロケット」

株式会社コロケット

記事は次ページへ続きます▶▶

2022年9月末～12月末頃まで堺市産業振興  
センター1F「さかいモノてらす」で展示予定